

海老名市の結果概要

平成26年度
全国学力・学習状況調査

教科に関する調査の結果

*平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

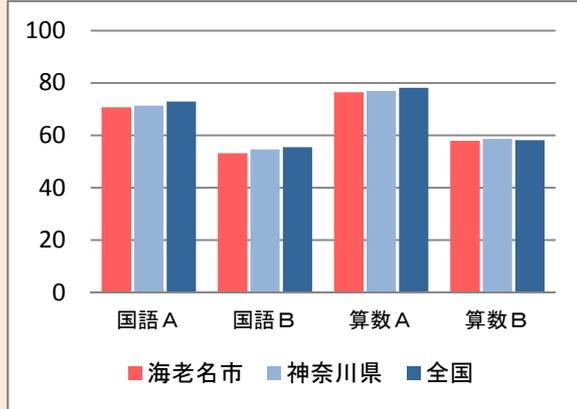
小学校

全国と同程度(±5%以内)で
全調査においてやや下回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
海老名市	70.7	53.2	76.4	57.9
神奈川県	71.3	54.6	76.9	58.6
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

平均正答率のグラフ(%)



★小学校では、国語A・算数Aにおいて平均正答率が70%を超えました。



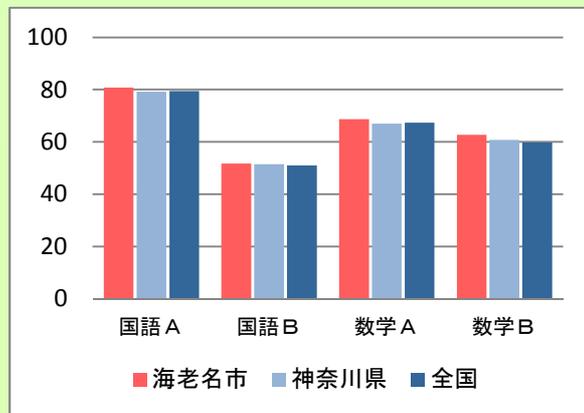
中学校

全国と同程度(±5%以内)で
全調査においてやや上回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
海老名市	80.8	51.8	68.7	62.7
神奈川県	79.2	51.5	67.0	60.8
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

平均正答率のグラフ(%)



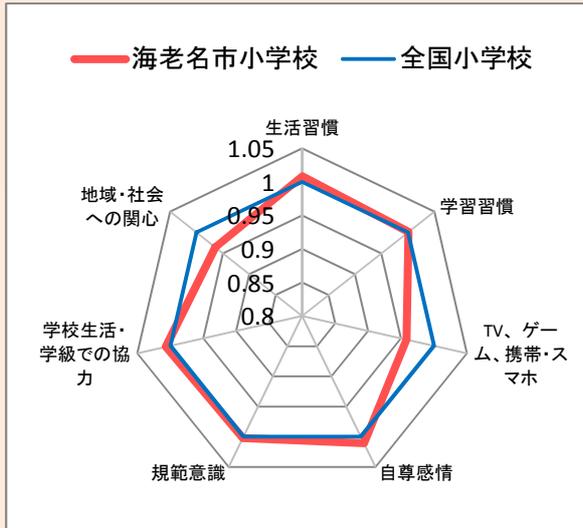
★中学校では、国語Aにおいて平均正答率が80%を超えました。



児童生徒に対する質問紙調査の結果

小学校

基本的な生活習慣は良好です



児童質問紙より（全国平均を「1」としたときの比較）

○「元氣なえびなっ子プラン」の取組により、基本的な生活習慣が身につけてきました。

○自尊感情や規範意識が高く、学校生活を楽しくしています。

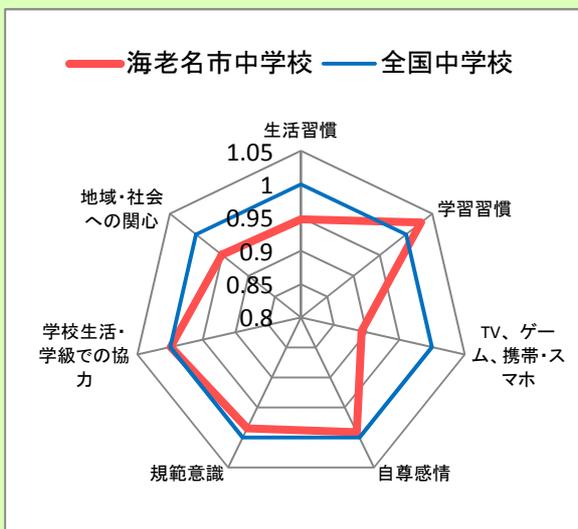
○TVやゲームの時間が長く、家庭で遊び方についてのルールを話し合って使う必要があります。

○地域のイベントに積極的に参加するなど、学校・家庭・地域の連携を深める必要があります。



中学校

学習習慣は良好です



生徒質問紙より（全国平均を「1」としたときの比較）

○家庭での学習時間が確保され、学習習慣は良好ですが、基本的な生活習慣の改善が大きな課題です。

○みんなと協力して達成感を味わい、学校生活を楽しんでいます。

○TVやゲーム、携帯電話・スマートフォンに費やす時間が長く、学校と家庭が連携して対応することが急務です。

○部活動などで地域とかかわる活動を広げ、学校と地域の連携を深める必要があります。

